

議員定数等調査特別委員会記録

○開催日時

令和5年12月18日 午前10時～午前10時10分

○開催場所

第3委員会室

○出席委員（10人）

委員長 落口久光
副委員長 阿久根憲造
委員 福田俊一郎
委員 井上勝博
委員 新原春二

委員 塩田耕太郎
委員 帯田裕達
委員 森満晃
委員 犬井美香
委員 坂口正幸

議会事務局長 田代健一
議事調査課長 久米道秋

課長代理兼議事グループ長 上川雄之
主幹兼管理調査グループ長 原浩一

○審査事件等

- 1 県内行政視察について
 - 2 委員会中間報告について
-

△開 会

○委員長（落口久光）ただいまから、議員定数等調査特別委員会を開会いたします。

本日の委員会は、お手元の審査日程により審査を進めたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（落口久光）御異議ありませんので、お手元の審査日程により審査を進めます。

ここで、傍聴の取扱いについて申し上げます。現在のところ傍聴の申出はありませんが、会議の途中で傍聴の申出がある場合は、委員長において随時許可します。

△県内行政視察について

○委員長（落口久光）まず、県内行政視察についてを議題といたします。

前回の委員会で、県内市議会の視察を行うことを決定しておりましたので、事前にタブレットに日程と視察先、内容を送付させていただきました。

ただいまタブレットに表示の資料のとおり、1月22日に南九州市、1月24日に霧島市の視察をそれぞれ計画しておりますが、この内容等について委員の皆様から何かありませんか。御意見をお願いいたします。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（落口久光）質疑、意見はないと認めます。

それでは、本件については資料のとおり、行政視察を実施することで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（落口久光）御異議ありませんので、資料のとおり実施することとします。

なお、実施に当たって必要な調整、委員派遣の手續等については、委員長に一任いただきたいと思います。そのように取り扱うことで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（落口久光）御異議ありませんので、そのように取り扱うこととします。

なお、関連資料、詳細な行程等については、後日タブレットに配信しますので、よろしく願いいたします。

また、視察に当たってあらかじめ質問したい項目があれば、取りまとめて視察先へ送付しますの

で、1月12日までに事務局へ提出して下さるようお願いいたします。

△委員会中間報告について

○委員長（落口久光）次は、委員会の中間報告についてを議題といたします。

本特別委員会については、本年6月定例会で設置され半年を経過しようとしております。ついては、これまでの審査の状況等について、今定例会で報告しておく必要があるのではないかと考えておりますが、このことにつきまして、委員の皆様から何か御意見等はございませんか。ありませんか。

○委員（井上勝博）経過報告だけでもしておいたほうが良いと思います。

○委員（帯田裕達）経過報告は必要だと思いますが、この視察が終わった時点でやるべきじゃないかと思います。そのほうが経過報告になると思いますが、どうでしょうか。

○委員長（落口久光）ほかは御意見ございませんか。

○委員（新原春二）中間報告をするとしても、恐らく3月議会になるんじゃないかと思います。ですけれども、この視察を受けて中間報告というふうになると思いますけれども、3月から今度は9月が最終ですので、9月の最終報告をせないかんということになると思うんですね。今回、中間報告をするとしても3月議会に、2件の視察の報告をすることになります。当然、委員会を開いていますから、委員会報告はせないかんわけですからやりますが、その中間報告をするのか、それとも、あと一番最終的に、今回で結論は恐らく出ないと思いますので、出なかった理由についてきちんと報告をして、その次の議会に申し送りをしたほうが良いと思いますので、そこをどうするのか。最終的に、現地調査も含めて、視察も含めて、最終で出したほうが良いのかな。そして、次期、構成替えの委員会に引き継ぐことのほうが良いかなと思って、別に結論が出ていけませんので、報告義務があるのかなと思います。

ただ、委員会を開いていますから、当然、委員会の中間報告になるのか、委員会報告になるのか、それは委員会報告としてせないかんのじゃないかなと、最終でいいんじゃないかと思います。

○委員（井上勝博） ちょっとよく分かんなかったですけど、私の考えとしては、今、経過報告としては、議員定数の問題については、もう時間的には無理だろうということが確認されたわけですよというふうに思っているんですが、やっぱそういうのは、ちゃんと中間的にどこかで事実経過として確認しておいたほうがいいのかなというのが私の考えなんです、ちょっと新原委員の言われていることがよく分からなかったんです。最終だけでいいんじゃないかというお話でしたっけ。

○委員（新原春二） 結論が出れば、その中で中間報告という申し送りをするんですけども、当然、委員会を開いていますから、委員会の報告はせないかんわけですよ。こうして視察をしましたちゅう報告はしないといけない。それが中間報告になるのかどうか、委員会の報告でいいんじゃないかと私は思います。最終的に、最終報告を9月の議会で上げたほうがいいのかなと私はそう思います。

○委員長（落口久光） ちなみに、ほかの御意見もございませんか。

○委員（阿久根憲造） 最初は、私、坂口健太議員の委員長の下で副委員長をしておりました。開会の委員会を1回、その後、互選のための委員会ということで、2回ちょっと議論の深まらない委員会をやっているというような形になっております。

先般、福田議員が出していただいた以前の審議の過程などを拝見しました。今度、視察に行つてよその状況ですね。始良市などいろいろな動きが出てきておりますので、しっかりと議論を深めてから、しっかりした中間報告というのをするのであれば、やはり新原議員が言われるように、6月ないし9月ぐらいまでいかないと、ちょっとしっかりした議員の意見の深まった報告が出せないんじゃないかなという気がしております。

今回のこの委員会の中で、しっかりした結論を出せて、次の議会に申し送りができるのかどうかというところも含めて、改めてこれから議論を深めていかないといけないのかなという状況なのかなというふうに感じます。

○委員長（落口久光） ほかの御意見ございませんか。

○委員（犬井美香） 私も帯田委員の御意見に賛

成という立場だと思うんですけど、阿久根委員が、今、言われたように、前回、前々回の委員会の中では、前はまだ議論というのができたと思うんですけども、前々回とかまだ何も本当に分からないままのただのというか、委員会だったというふうにちょっと認識しています。

1月にせっかく視察もしますし、3月までに何回この委員会が開けるかどうかというのはちょっと定かではないんですけども、一応、視察の報告も含め、そして中間、本当に、今、どのような議論をしているというのは、早めの段階、3月できちんとお示しした上で、その後、議論が深まったという形で、9月なりというような流れのほうがいいのかなというふうに、私は感じています。

○委員長（落口久光） ほかの委員の皆様、御意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（落口久光） ないようでしたら、今の意見を総括しますと、まず、今回、今定例会、最終日になると思いますが、やるべきという御意見と、一応、ちょっと月が少し変わりますが、視察、それ以降の状況を見てやるべしというような、大きく分けて二つ。二つ目のほうが、ちょっとまだいつするかというところは、まだ3月の定例会以降で決めればいいかと思いますので、ちょっと総括しますと、今回する、しないと二つの意見になっているかと思います。ということで、まずこの定例会でやるかどうかというところだけを決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔発言する者あり〕

○委員長（落口久光） この本委員会の中間報告という形で、今度の最終日の本会議で中間報告をするか、もしくはその以降にやるかということを決めたいと思います。それでは、一応、そのまま起立でよろしいですかね。挙手でいいですかね。

〔発言する者あり〕

○委員長（落口久光） じゃあもう挙手でいきたいと思います。

では、まず本定例会の最終日で、本委員会の中間報告することに賛成の方、挙手をお願いいたします。井上委員、よかったですか。

〔発言する者あり〕

○委員長（落口久光） すみません。私の言い

方が悪かったのかもしれませんが、今定例会で報告しておくかどうかというような内容でしたので、そうであれば、一旦はちょっと今定例会では報告をせずに、1月の視察をもつてからの動向で決めるというふうにさせていただきたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（落口久光）では、御異議ありませんので、そのようにしたいと思います。

それでは、委員会中間報告については、3月定例会で行うことで決定しました。

△閉 会

○委員長（落口久光）以上で、本日の委員会を閉会したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（落口久光）御異議ありませんので、以上で、議員定数等調査特別委員会を閉会いたします。

薩摩川内市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

薩摩川内市議会議員定数等対策調査特別委員会

委員長 落 口 久 光